企画書「LTSS」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　菊池真

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　泉澤遼

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　吉谷地涼

テーマ

　閲覧者参加型ライトニングトークを提案する

現状

　多くのLTは既存のプレゼンテーションツールとタイマーだけを用いている

　また、LTの特性としてトーカーから聞き手へ一方的に話すことになる

目的

　①タイマーと画像検索機能で最低限のLTが行えるようにする

　②観客の反応を表示する

利点

　画像のみ、または準備不足でLTを行う時にほかのプレゼンテーションツールを用意しなくてもすることができる。観客の反応を見れることで内容に対する興味度合や評価などがわかるので、LT中は演出のタイミングを決めることができ、終了後には反省の材料にすることができる。

内容

　前提として発表者が用意してきた画像などを流し、その補助としてグーグル検索を利用してもらう。また、発表者が用意した資料などもUSBなどから読み込んで表示させることができる。

未実装機能

　セーフサーチ

　画面表示のトランジット機能